

6月17日

◇ スクールセイフティー事業で、5年生がシートベルトの大切さを学びました

県のスクールセイフティー事業の一環で、5年生がシートベルトの装着体験をしました。お話や動画でシートベルトの有効性や着用の仕方を勉強した後、県に一台しかないシートベルト着用体験車両（日本自動車連盟：JAF 所有）を使って、時速 5Kmで衝突を再現し、その衝撃とその際のシートベルトのはたらきを体験しました。衝撃は想像以上のもので、シートベルトのありがたさを実感することができました。

